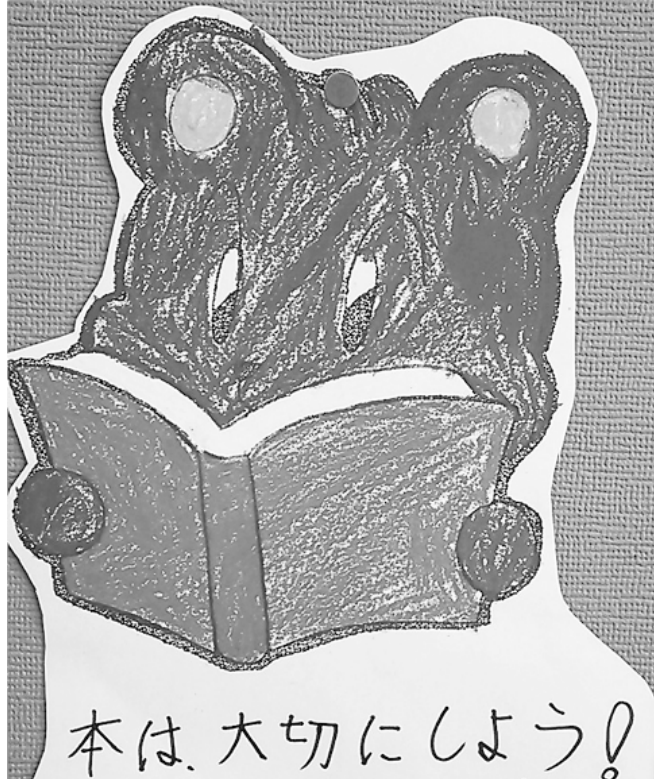


平成25年度

石神第一小学校

学校図書館支援活動報告



南相馬市立中央図書館

学校図書館支援員

杉 千尋

## はじめに

本年度より派遣となった石神第一小学校は、全校児童 89 名の比較的小規模な学校である。人数の詳細は以下の通り。

平成 25 年度児童数

1 年 1 組	2 年 1 組	3 年 1 組	4 年 1 組	5 年 1 組	6 年 1 組	2 組	合計
7 名	13 名	17 名	11 名	23 名	16 名	2 名	89 名

(25 年 3 月末時点)

石神第一小学校の学校図書館支援は毎週月曜日および火曜日の週 2 日が基本となった。なお、図書担当教諭は、佐々木福美教諭である。

## 1 支援活動開始時の課題

### ●学校図書館としての基本的な設備の準備

支援開始当時は図書室が集会等で使用された直後ということもあり、椅子のみが一定方向に並んだ状態であった。一部は書架をふさぎ、学校図書館としての利用は不可能と言わざるを得なかった。

### ●セット本の飾り箱処分

セット本は飾り箱に入ったまま配架され、棚に無駄なスペースを生んでいた上、児童が手に取ることが容易ではない状態であった。

### ●分類および配架方法の改善

文学（9 類）の配架見出しが低学年・中学年・高学年となっていたが、震災ですべての本が落下した影響もあり、配架にきまりはなくひとまず 9 類の本が棚に収まっているという状態であった。

また、文学以外の棚も分類の見出しはあるものの、文学に同じく棚に収まっているだけの状態で、しっかりとした分類はされていなかった。

### ●日焼け本等の除籍および廃棄

ほとんどの本は背表紙が日に焼け、取り出してみないと何の本なのか分からない状態であった。また、棚はほとんど前述の本で埋め尽くされ、比較的新しい本が埋もれていた。

## 2 活動の方針

図書担当である佐々木教諭との打ち合わせの結果、日焼け等で魅力の半減した本は受入年数が古いことも考慮し、基本的に除籍及び廃棄とすることとした。

また、文学の配架見出しを撤去し、中央図書館に倣った「やさしいおはなし」（文字が大きくほとんど漢字が使用されていない、挿絵が多用されている読み物）「ものがたり」（やさしいおはなし以外の文学）「えほん」（全ページに絵があり、主役が文章ではなく絵である本）という分類・配架とすることとした。

1学年および2学年担任より申し出があり、5月より下校前に毎週1冊～2冊程度読み聞かせの時間を設けることになった。割り当ては月曜日に1年生、火曜日に2年生である。

## 3 本年度の主な活動

### ●学校図書館としての基本的な設備の準備

図書担当教諭だけでなく、教頭にも確認を取って会議室状態の室内を整備した。

必要個数のみの椅子を残し、大半は同じ3階にある多目的室に運んだ。また、後方に折りたたんで積まれていた長テーブルをふたつ1セットで4セット設置した。

2学期開始時には動線を考え、カウンターの位置を変更した。

### ●セット本の飾り箱処分

厚みのある飾り箱は、それだけで棚のスペースを数冊分使用してしまう。また、輸送を前提に作られている箱は余裕がなく、児童だけでなく大人でも本の取り出しが容易ではない。

そのため、すべての飾り箱を取り出し、処分した。

### ●分類および配架方法の改善

文学を大まかに「やさしいおはなし」「ものがたり」「えほん」に分けて配架した。それ以外の分類も大まかに棚を決め、配架した。

その際、後述の除籍及び廃棄を行う、受入年の古く日焼けに進む図書やページの欠落した図書を別置きした。

文学以外の類は大まかに棚を決め、そこに配架するように心がけたが、分類ラベル自体の間違いが多々あり、分類確認が必要な図書が多数見られた。

●除籍および廃棄

受入年が古く日焼けの進む図書、受入年は比較的新しいがページが欠落し内容の把握が難しい図書、明らかに多い複本に関しては除籍および廃棄を行った。

また、元は個人のもと思われる登録のない図書が多々紛れていたため、内容を確認の上、同時に廃棄を行った。

後期の図書委員会では図書委員の協力を得て、計1500冊ほどの図書を廃棄した。

●低学年の習慣的な読み聞かせ

担任からの申し出があり、5月より月曜日の下校前に1年生、火曜日の下校前に2年生の読み聞かせを行った。(合同で行ったこともあり、回数は合わせて61回)

非常に短時間ということもあり、基本的には児童からのリクエストを受け付けた。途切れた時や下校前の授業と併せて行ったときには季節の本や新しい本の紹介も兼ねて読み聞かせした。

●選書および装備

今年度は市図書費、杉並区からの寄付で賄われる杉並文庫のほか、オリエンタルランド、弘済会などからも希望図書の寄贈があった。

寄贈図書に関しては市内統一のグリーンラベルを張り付けの上、フィルムコート装備を行った。

<支援開始時の図書室内>



↑集会の後ということもあり、椅子だけが並んでいた。

また、一部は書架を塞いでいた。↓



< 支援開始当時のある書架 >

セット本がジャストサイズの飾り箱に入ったままで、取り出しが難しい。  
非常に利用しにくい状態だった。



飾り箱から取り出して配架。少し余裕が出て、取り出しが容易になった。

<支援開始当時の文学見出し>



このほか、高学年向きの見出しもあった。  
しかし、見出し通りには分かれていなかった。

<多くの複本>

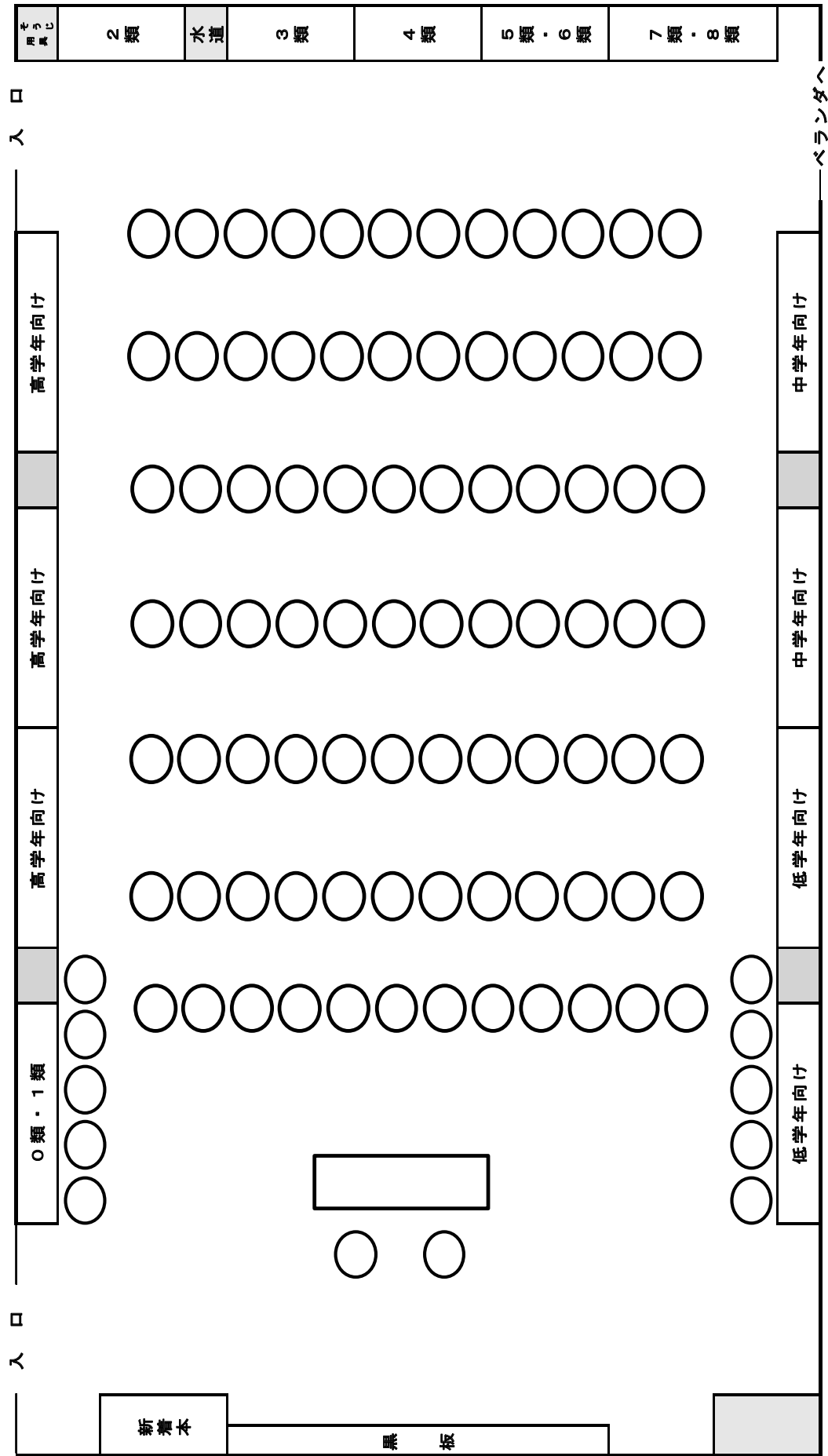


元は授業などで使ったと思われる複本が、作りつけの棚にしまっていた。

# 石神第一小学校図書館 配置図

## 支援開始当時

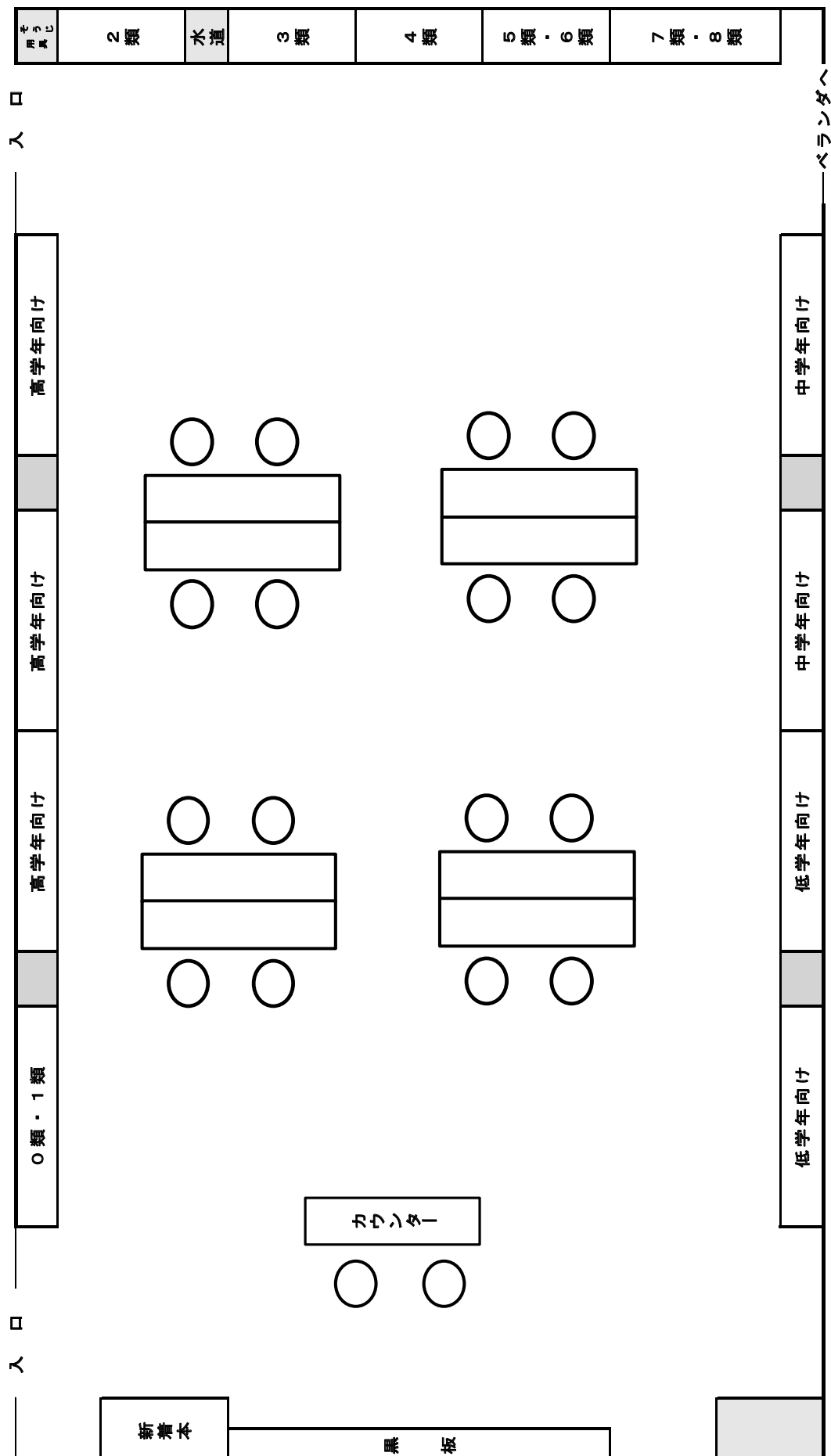
※棚の表記は見出しのあった分類だが、実際は全く関係なく本が収まっていた。

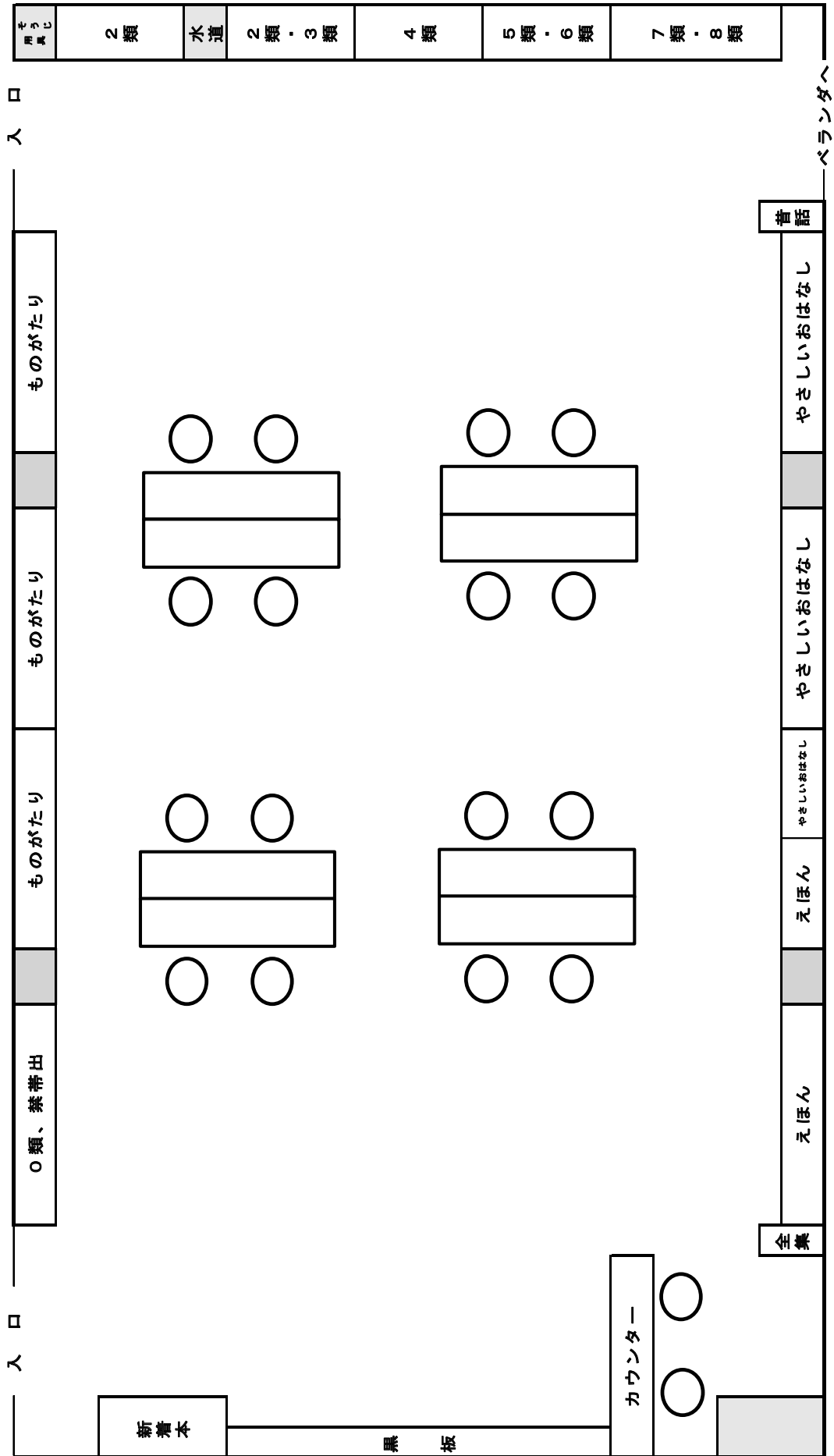




石神第一小学校図書館 配置図

基本的設備設置後





#### 4 学校図書館利用実績

学校図書館の利用のうち、貸し出し記録の残る児童の個人貸し出しについて、表にまとめた。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計
4月	0	0	19	0	5	4	28
5月	0	0	3	0	9	6	18
6月	7	0	20	13	23	22	85
7月	21	0	22	6	42	17	108
8月	7	0	0	0	0	0	7
9月	0	0	3	0	2	19	24
10月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
学年合計	35	0	67	19	81	68	270

貸し出し記録の方法に関して、担任の先生によって指導に差があった。そのため、学年によってはまったく実績が把握できていない。

## 5 今年度の反省および来年度の課題

### ●分類および配架に関して

文学の配架に関してはある程度整理が終わり、見出しをつけて配架が出来た。しかし、やさしいおはなしとものがたりに関して、本を見て児童が一目で分かるものがないため、今後はカラーテープを使用するなどして対応していきたい。

文学以外の類に関しては大まかに棚に並んでいるだけで、まだほとんど整理が出来ていない。また、分類ラベル自体も間違っているものが多々あり、確認の必要な図書が多く存在した。整理すると同時に正しい分類に直して配架できるようにしていきたい。

### ●図書室環境に関して

現在、石神第一小学校は会議室が存在せず、保護者等の集会には図書室が使用されている。そのため、集会後のテーブルや椅子の配置が毎日のように変わっている、会場作成のために図書室の使用ができない、といったことが多々ある。

児童の読書環境にも影響しかねないため来年度は基本的な配置図を作成するなどして、使用後は支援員がいなくとも元の状態に戻せるようにしていきたい。

### ●貸し出し方法に関して

学年によって担任の指導に差があったため、正確な貸出統計が取れていない。また、児童によって貸出方法の認識に違いがある。

図書担当教諭と確認・相談の上、来年度は明確に統一された貸し出し方法をすべての学年で再度確認出来るようにしたい。

### ●図書室利用の促進について

先生方からの依頼で中央図書館や学校図書館よりクラス単位で貸し出しを行うことはあったが、児童の利用自体は決して多いとはいえない。

今年度は書架整理、寄贈本の装備等を優先していたため、児童とのコミュニケーション、また利用促進が不足していたように感じる。来年度は児童との十分なコミュニケーションを取りながら利用促進にも力を入れていきたい。